

「だんないで子育てフェスタ2017」の報告

1. 目的

近江八幡市子ども・子育て支援事業計画に沿って、すべての子どもの健やかな育ちと子育てを支援し、「子どもの最善の利益」が実現されるまちをめざし、子育て不安の解消や地域の繋がりを醸成を図るため、『だんないで子育てフェスタ2017』を実施する。

2. 日時・会場 平成29年9月2日（土） 10時～12時、13時～14時30分
総合福祉センター「ひまわり館」

3. 対象 妊娠期～子育て中の親子、子育てに関心のある方

4. 目標と企画

目標1 相談・意見聴取等を行い、子育ての不安を解消

- ・子育て世代包括支援センター等相談窓口の情報提供
- ・子育て世代の望み等を意見聴取「市民意見交換会」
(※実施人数に達しなかったため、ひと言メッセージボード企画に変更)
- ・食育展示「0～3歳の食事って、どんな感じ？」

目標2 親子が子育て支援の団体を知るとともに、支援団体の繋がりを醸成

- ・まちづくり協議会等の子育て支援団体・企業のポスター展示
- ・ファミリーサポートセンターの利用説明&登録会
- ・ビジターさんといっしょにあそぼ！（ホームスタート支援員・ビジター）
- ・わいきゃきゃさんの遊ぼうのコーナー（ボランティア団体「わいきゃきゃ」）
- ・講座／「風船で動物を作ってみよう」（地域ボランティア）
- ・おもちゃ病院（地域ボランティア）

目標3 仕事と子育ての両立実現を啓発（特に、父親・母親が共に子育てをする意識醸成）

- ・講座／パパ・ママが笑えば子どももうれしい「0歳児親子の笑いヨガ」
- ・講座／Let's おやこでスキンシップ！「楽しい歌とおはなしの会」
- ・講座／「おやこリズムあそび」
- ・企画／県立近代美術館 出前美術館「名画でびっくりコラージュ」
- ・親子で体験工房「親子で手形♪成長記念、パチパチカスタネット」
- ・地域型保育施設の紹介（小規模保育5カ所、家庭的保育2カ所）
- ・保育施設への入所相談
- ・結婚・子育て映像（地域少子化対策強化事業の成果物）の放映

5. 報告

(1) 来場者数（玄関前受付の記録）

組数123組 / 大人160人（祖父母11人、父28人）、子ども159人

※H28年度実績 組数130組/大人170人（祖父母8人、父38人）、子ども173人

(2) 各ブースでの受付数

AM	PM	企画名	組数	※参考値	
				大人	子ども
●		「0歳児親子の笑いヨガ」	20組	24人	23人
●		「楽しい歌とおはなしの会」	24組	31人	27人
	●	「おやこリズムあそび」	16組	19人	18人
	●	「風船で動物を作ってみよう」	20組程度		
●		ビジターさんといっしょにあそぼ	18組	20人	20人
●		わいきゃきゃさんの遊ぼうのコーナー	41組	46人	51人
●	●	出前美術館 名画でびっくりコラージュ	57組	71人	75人
●	●	体験工房 親子で手形♪成長記念	82組	106人	105人
	●	体験工房 パチパチカスタネット	14組	16人	18人
●		子どもセンターのおもちゃであそぼ	36組	43人	42人
	●	保育施設への入所相談	8組	11人	6人
●		ファミリーサポートセンター 利用説明&登録会	新規登録8組（子ども11人）		
●	●	おもちゃ病院	27組（修理24組）		

(3) アンケートの結果（回収数99枚 ※平成28年度120枚）

① 在住区域

市内 93人	八幡17、島3、沖島0、岡山6、金田26、桐原21、 馬淵1、北里1、武佐5、安土6、老蘇7
県内 1人	県外 0人 不明5人

② 来場者（アンケート回答者）の家族構成

大人 126人	<参考：祖父母7、父15、母62>	子ども 124人
---------	-------------------	----------

※平成28年度 大人170人、子ども164人

③ フェスタ情報を得た媒体

（複数回答）

市広報紙「8月号」(37)	チラシ(52)	口コミ(18)	ホームページ(5)
タウンメール(0)	フェイスブック(1)		

※平成28年度より、広報紙から情報を得た割合（24%→37%）が増えた。

④参加したイベント

(複数回答)

<p>1・①オープニング「ハグしちゃおう！」(21)、1・②0歳児親子の笑いヨガ(16)、 1・③楽しい歌とおはなしの会(19)、1・④おやこリズムあそび(14)、 1・⑤風船で動物を作ってみよう(9)、1・⑥おわりの会「わらべうたをしよう」(1)、 2. いろいろな展示コーナー(22)、3. 子どもセンターのおもちゃであそぼ(35)、 4. ビジターさんといっしょにあそぼ(13)、5. 一言ボード(市民意見交換会)(5)、 6. 出前美術館(25)、7. 体験工房「親子で手形」(55)、8. 体験工房「パチパチカ スタネット」(13)、9. わいきゃきゃさんの遊ぼうのコーナー(9)、 10. パネル展示「施設・食育」(21)、11. 保育施設への入所相談(5)、 12. おもちゃ病院(19)</p>

⑤来年も同じようなフェスタがあれば、また来たいか。

来たい(96)	来たくない(0)
来たい理由	親子ともに楽しんだ。子どもと遊べる場、親の息抜きの場になる。 親子ともに交流の機会になる。子どもの刺激になる。 いろいろな企画が良い。思い出が残せる。情報が得られる。 など
改善への意見	企業と協賛するなど同時間帯でいくつか催し物があっても良い。 お昼を食べるスペースがあれば良い。 予約なしでできる催しをもっとあったら良い。

⑥本市の子ども子育て支援に関する自由記載

<p>待機児童の解消(9) 医療費助成の拡充(6) 大きな公園の設置(5) 子どもを遊ばせる施設・場所の充実(4) イベント・行事の充実(5) 一時預かりの充実(2) もっと子育てしやすい街、地域のつながりが多い環境に。</p>
--

(4) 子育て一言メッセージボード

市民意見交換会が実施人数に達しなかったため、メッセージボードの企画に変更した。
本市での子育てに対して、22点のメッセージが寄せられた。

<p>広くて、たくさん遊具のある素敵な公園がほしい(8) マル福を中学校までにしてほしい(3) 子どもを遊ばせる施設、遊び場がほしい(4) 彦根の子どもセンターなど(1) 保育園を増やしてほしい(3) 病児保育の充実(1) 出産入院中の預かり(1)、公園がさみしい(1)</p>

(5) 当日の様子 (写真)



▲オープニング



▲0歳児親子の笑いヨガ



▲楽しい歌とおはなしの会



▲おやこリズムあそび



▲風船で動物を作ってみよう



▲ファミリーサポートセンターの案内



▲出前美術館



▲わいきゃきゃさんのあそび



▲子どもセンターのおもちゃであそび



▲体験工房「親子で手形」



▲食育展示「0～3歳の食事」



▲地域型保育施設の紹介



▲子育て支援のポスター展示



▲おもちゃ病院



▲ひと言メッセージボード

6. フェスタ後の所見

(1) 参加者の増減

- ・ 玄関前受付の記録によると、昨年は130組、今年は123組の親子に参加いただけた。昨年は受付担当の目視確認であったため少し多めに記録されており、今年は来訪者自身の記入受付であり実数に近いことから、同数程度の参加であったと評価できる。
- ・ また、昨年同様、来場された世帯の4分の1程度は父親も参加されていた。

(2) 情報の入手

- ・ フェスタ情報の入手については、昨年同様、チラシが多数を占める中、広報紙から情報を得た割合が昨年度の24%から37%に増えている。同じ8月号の同じ誌面スペースでの告知であったが、今年の誌面には写真（昨年の模様など）を組み入れていることから、目に留まりやすかったのではないかと推察できる。
- ・ 昨年同様、ホームページ、タウンメール、フェイスブックなどのIT技術を活用した情報伝達については、まだまだ主力となっておらず、今後、利用者の増加や発信回数、発信方法の工夫など、さらなる改善が必要と思われる。

(3) 催しの時間帯

- ・ 午前の参加者が全体の7割程度と多く、午前、午後の参加数に極端な違いがあった。そのこともあり、午前中の「手形コーナー（当日先着）」は混雑する状況となった。
- ・ 生活リズムとして午睡する乳幼児が多く、午前中に活動される親子が多いことから、午前を中心に企画する方が効果的であると考えられる。

(4) 催しの工夫

- ・ 「子どもセンターのおもちゃであそぼ」「わいきゃきゃさんの遊ぼうのコーナー」については、自由に遊べるコーナーとして空き時間や事前予約をしていない親子の遊び場として、たくさんの利用があった。
- ・ しかし、スペースが狭く混雑したため親子が一緒に遊べない状況、子どもだけで遊ばせる状況があり、親子が触れあう機会の提供として改善が必要と思われる。
- ・ 昨年も人気のあった手形コーナーについては、近代美術館と連携した企画を行い、「良い記念、思い出になった」と今年度も好評であった。全体的に、各コーナーとも親子で触れあえる企画として、楽しそうな笑顔がたくさん見られた。
- ・ コーナーの配置など事務的な反省点を改善しつつ、地域の子育て支援や取り組みを周知する機会、親子の触れ合いを提供する機会として来年度以降も実施することは有意義であると考えられる。